

霞ヶ浦環境保全について



飯田 洋司 議員

質問 年2回実行していた霞ヶ浦清掃大作戦が、本年より1回に変更となった。なぜ、年1回になったのか。

答弁 (経済建設部長) 「沿岸自治体と霞ヶ浦問題協議会」という組織があり、この事業として、霞ヶ浦清掃大作戦を行っている。霞ヶ浦問題協議会の事業として行うのは年1回だが、本村の場合、沿岸の皆さんのご協力により年2回行っていた。ただし、近隣市町の状況を見ると年1回のところが多い。本村も試験的ではあるが、年1回とした。

質問 霞ヶ浦流域のごみ対

策など国・県の支援について伺う。

答弁 (経済建設部長) 国・県からの市町村への支援策は、公共下水道整備や高度処理型合併処理浄化槽設置補助金などで、ごみ処理に対する支援制度はない。



ごみが打ち上げられた霞ヶ浦沿岸

質問 霞ヶ浦の自然環境の利活用と本村の今後の対応は。

答弁 (経済建設部長) イベント等を通じて地域の持つ資源、歴史遺産、豊かな自然、景観、霞ヶ浦の魅力を発信し、交流人口を増やし、美浦村のすばらしさを多くの人に知ってもらい、村の活性化につなげる。霞ヶ浦を周遊するサイクリングロードの整備も具体的対策の一つと考える。茨城県に対して要望書を提出すべく、作業を進めている。

質問 漁業関係者と協定を結び、環境美化に協力してもらえないか。

答弁 (経済建設部長) 霞ヶ浦の環境問題で、漁業関係者と協力連携できないかということについては、組合の皆様と今後検討する。

質問 本村で霞ヶ浦総合対

策課を設置できないか。



穏やかな表情を見せる霞ヶ浦

答弁 (経済建設部長) 本村は小さな行政体であり、それぞれの部署から霞ヶ浦に関することを分離することとは、組織の人的問題、行政コストの問題等もある。現状の組織構成の中で連携をとり、協調性をもって事に当たっていくことにより、霞ヶ浦総合対策課の新設と同等の効果を上げられるよう努める。